

第19回兵庫県障害者芸術文化祭オープニングシンポジウム 開催結果

- 1 日時 令和6年3月1日（金）13時～15時
- 2 場所 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階 ギャラリー
(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)
- 3 出席者 一般参加者 89名
- 4 テーマ ① (一社) 障がい者自立推進機構 セイン カミュ
「障害のあるアーティストの創作活動」
② (特非) 100年福社会片山工房 新川 修平、川本 尚美
「片山工房が考える・障害のある方のアート活動に必要なこと」
司会: Kiss FM 神戸 DJ ターザン 山下
- 5 概要

セイン・カミュさんからは、現在の活動のきっかけとなった妹さんやご家族のこと、仲間との出会いなどから、家族の支えや個々にあった環境を与えることの大切さ、アートの素晴らしさに国境も障害のあるなしも関係なく、優しい気持ち広がってほしいことなどをお話いただき、片山工房の新川理事長と川本さんからは、施設の活動やメンバーの創作活動の様子をスライドで紹介いただきながら、いい絵を描こうとするのではなく、描きたい絵を描くことができる環境を、共感の心を持って支える姿勢が大事だということをお話いただきました。

質疑応答では、家族間の接し方や創作するときのかかわり方、画材のことなどをそれぞれの講師からお答えいただき、闊達な議論がなされました。



セイン・カミュ氏講演



片山工房講演



セインさんの妹さん、片山工房に所属する方の作品も展示されました